

# 平野克己さんの部屋



かぬま市民活動広場

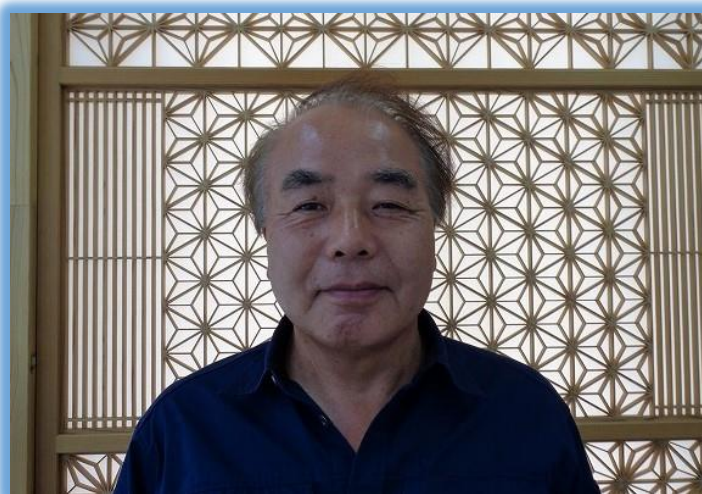
ふらっと

※かぬま市民活動広場ふらっとHPの題字引用

「ふらっと」は、市民活動を行う団体・個人へのサポートや企業・行政などとの連携を行い、協働のまちづくり推進する施設です。

下横町1302 まちなか交流プラザ1階

にあります。平野さんは、この「ふらっと」の理事長です。



Q | 「ふらっと」にお勤めしたきっかけは何ですか。

A 市民活動広場「ふらっと」は、2006年10月に任意団体として設立され、市民活動センターとして活動していました。私は、一般企業の退職を機にふらっとの「ボランティア講座」を受講し、市民活動に出会うことになりました。2011年の東日本大震災で東北からの避難者のサポートをしたことがふらっとに本格的に関わる第一歩でした。その後、ふらっとは2012年には「NPO法人かぬま市民活動サポーターズ」として活動を始めるに至り、その運営にも参加するようになりました。

Q 2

シニア支援を通しての感想をお聞かせください。

A

「ふらっと」は、市民活動団体の支援なので、助言・コーディネートが本来の目的です。「NPO法人かぬま市民活動サポーターズ」が母体となっています。

その中で、シニアセミナーの研修の紹介やシニア向けのパソコン教室等の講座の開設も行っています。その活動を通して感じたことは、

**一般のシニアは、実は暇を持て余している。  
しかし、ある程度休みたいと思っている。  
休む期間も大切**



ということです。その点を考慮して上手に協力を依頼することが大切だと思います。活動を始めると積極的に行ってください、戦力になると思います。なにせ、シニアには様々な技術があります。しかし、組織に入ると歯がゆさがあるようです。「ふらっと」でも高齢者講座を増やしていきたいと思っています。

Q 3

シニアの活動にあたって課題はありますか。

A

① どうやって活動に協力してもらうか。  
活動内容・達成度合・スケジュールを明確にするとよいと思います。

② 地域の多くの方々に活動協力について知ってもらうこと

そのためには、まず、自治会協議会やコミュニティ推進協議会、青少年育成市民会議等、地域の活動を推進している方々に知ってもらうことが大切だと思います。

③ 報酬に関すること

ボランティアは、無償で時間を合わせて活動してくれています。しかし、少しでも報酬を渡すのは必要なのではないかと考えています。



Q 4

シニアを地域で輝かせるコツがあったら教えてください。

A

「やる気を出させる」だと思います。そのためには、2つのコツがあると思います。

- ① 達成感を持ってもらう。
- ② 必要とされている、と思ってもらう。

また、責任が重すぎてもだめです。このバランスを考えながら、地域のシニアを輝かせてください。



平野さん、お忙しいところありがとうございました。「高齢者には、技術がある」という言葉が印象的でした。国の助成金を見つけて、高齢者用のスマホ教室を開いたり、ICTに堪能な高齢者を見つけてプログラミング教育の支援に派遣するというお話も、素敵だなあと思いました。さらに、プログラミング教育は、プログラミング的思考を育てるのだということまで熟知されており、びっくりでした。学習指導要領までご覧になっているのです。鹿沼市の力強い味方を見つけてしまいました。

皆さんも何かあったら、平野さんに相談するとよいでしょう。

地域学校協働活動&コミュニティ・スクール関係者の皆さんへ

「ふらっと」では、様々な助成金情報を案内しています。地域づくりの際参考にしてみてはいかがでしょうかでしょう。

TEL ; 60-2212

FAX ; 60-2213

